

記入例

個別避難計画

避難支援者及び吹田市が適切に管理します。

地域支援組織等に対しては、下記、同意内容に基づき吹田市から情報提供を行います。

☐ 同意しません。	☐ 一部提供することに同意します。（避難シートだけを情報提供します。）
	☒ 全部提供することに同意します。（避難シート・生活支援シートを情報提供します。）

※要援護者本人もしくは代筆者により、記入してください。

※個別避難計画情報の利用・提供について
同意するかどうかについて回答してください

記入日	2026 年 10 月 1 日	管理番号	
フリガナ	スイタ タロウ	住所	吹田市 泉町1-3-40
氏名 (本人)	吹田 太郎		上記が住民票に記載の住所と異なる場合は ☒ → ☐
生年 月日	※西暦で記入 1945 年 1 月 1 日 (81歳)	連絡先	携帯電話 000-1234-5678

避難シート 1

安全な場所まで避難する際の行動を整理するための設問になります。
あてはまる番号に○をつけ、記入が必要な場合は、記入欄に記入ください。

1 災害時にどこへ避難しますか？ 避難場所は、第一候補と第二候補の2案を想定してください。

洪水 土砂災害 地震	避難場所 (第一候補)	吹田市文化会館(メイシアター)
	避難場所 (第二候補)	吹田第二小学校

避難先は、避難所だけでなく、状況によっては、知人宅や在宅避難として自宅も避難場所として想定されます
安全性や行きやすさ等を考慮し、避難場所の候補を決めましょう

2 いつ避難しますか？

洪水 土砂災害	① 警戒レベル3(高齢者等避難)が発令されたら、一緒に避難する人 2 その他()
地震	① 地震の揺れが治まり、安全確認の上、一緒に避難する人と連絡を取り合い避難開始 2 その他()

3 自宅の玄関まで移動することはできますか？

玄関まで	1 自力でできる	2 家族と一緒にならできる	③ 支援者と一緒にならできる	4 わからない
------	----------	---------------	----------------	---------

4 避難場所までどうやって避難しますか？また、どのような支援が必要ですか？

自宅から 第一避難場所まで	① 徒歩	2 車いす	3 車	4 その他()
	手伝ってほしいこと	杖をついて荷物を持つての移動のため手を貸してほしい		
上記から 第二避難場所まで	① 徒歩	2 車いす	3 車	4 その他()
	手伝ってほしいこと	距離があり坂道のためできれば車いすに乗って押してほしい		

5 一緒に逃げる人、支援してくれる人 ※ 支援者の方の了承を得た上で、氏名等を記入するようにしてください。

自宅から 第一避難場所まで 【避難】	① 自力で	支援してくれる人		
		氏名	関係	住所・連絡先
	① 役所 吾郎	知人	吹田市泉町○番○号 090-0000-0000	
上記から 第二避難場所まで 【避難】	2 家族と一緒に	②		
	① 自力で	支援してくれる人		
		氏名		
	2 家族と一緒に	②		

一緒に避難をしてくれる家族や近所の方等、支援者がいる場合は、「支援してくれる人」の欄に記入しましょう
記入する場合は、支援者の方の了承を得ましょう

避難シート 2

6 避難経路図（自宅から避難先までの経路がわかるように記載ください。）



■地図、図面等を貼付していただいても結構です。



必ず持ち出す物

1 個別避難計画		
2 非常持ち出し袋		
3 貴重品（保険証・お薬手帳・印鑑・現金・身分証）	9	
4 持病薬・サポーター・補聴器	10	
5 携帯電話（充電器）・携帯ラジオ	11	
6 家族の写真	12	

避難先で必要になるものを記入してください
災害時にすぐ持ち出せるよう、玄関の近く等に準備して、一緒に避難する人と確認しておきましょう

記入例

避難を支援するにあたり、必要な支援等を整理するための設問になります。あてはまる番号に○をつけ、記入が必要な場合は、記入欄に記入ください。

1 身体障害者手帳1級・2級（部位 ） 2 精神障害者保健福祉手帳1級

3 療育手帳A 4 要介護3～5（介護度 3 ・ 4 ・ 5 ）

5その他（ 要介護2 ）

1 自力歩行可 2杖歩行 3 歩行に介助が必要 4 車いす 5 その他

留意事項

1 通常会話可 2 見えづらい・見えない 3聞こえづらい・聞こえない

4 言葉で伝えづらい・伝えられない 5 その他（ ）

伝達方法

1通常会話可 2 手話 3 筆談

4 その他（ ）

1なし 2 人工呼吸器 3 人工透析 4 吸引 5 人工肛門

6 酸素療法 7 気管切開 8 その他（ ）

避難支援や避難生活上の留意点、伝達事項等（食物アレルギーや食事に関することを含む）

高血圧症の薬を服用していて、食事は柔らかいものやあっさりしたものしか食べられない。歩行は比較的しっかりしていますが、距離が長くなる場合は車いすで介助が必要です。認知症も少しあります。

※医療機器、衛生用品、薬、お薬手帳、眼鏡、補聴器、バッテリーなど

1 なし

2あり（ 薬、サポーター、眼鏡、補聴器 ）

2 建物の構造

建物の構造（避難基準）

1 木造（築35年） 2 鉄骨・鉄筋コンクリート（築 年） 3 不明・その他

1戸建て（ 2階建） 2 共同住宅・集合住宅（ 階建/ 階）

3 緊急連絡先 ※ 相手の方に了承いただいたうえで記入するようにしてください。

家族・親戚、友人等

フリガナ氏名

スイタ イチロウ

吹田 一郎

関係

長男

住所・連絡先

愛知県名古屋市…○番○号

090-0000-0000

フリガナ氏名

関係

住所・連絡先

4 個別避難計画作成者（本人・ご家族・地域支援組織・福祉事業所など）

個別避難計画作成者・事業所等

フリガナ氏名

フクシ ヨ

福祉 はな子

関係又は所属

ケアプランセンター

住所・連絡先

吹田市泉町…○番○号

090-0000-0000

生活支援シート2

5 避難生活で助けてほしいことをできるだけ具体的に簡潔に記入ください。

普段はひとりで生活していて面識のない方とのコミュニケーションが苦手、自力で生活することは可能であるが、思ったことがすぐに伝えられないため、避難所でのルールや情報などをこまめに伝えてほしいです。食事の介助などは必要ありませんが、噛むこと飲み込む力が弱くなっているため、また、血圧が高いので食事メニューに気を付ける必要があります。

体調面では杖があれば自力歩行は可能ですが、距離が長くなると車いすでの介助が必要です。体調は落ち着いており血圧を下げる薬を服用中。耳が聞こえづらくなっているため補聴器を使用しているが、認知症が進んできているのか外していることに気が付いていないことが多い。

※令和7年12月に一人で出歩いて自宅に帰れなくなったことがあり、災害時は特に注意が必要だと思います。

6 避難生活のために準備するもの

	持ち出し品	避難場所等に持ち出したり、停電時に自宅等で必要な物	数量	確認 ☑
1	☐ 〇	貴重品（保険証・お薬手帳・印鑑・現金・身分証）	一式	☐
2	☐ 〇	持参薬・サポーター・補聴器	1	☐
3	☐ 〇	携帯電話（充電器）・携帯ラジオ	1	☐
4	☐ 〇	非常食・飲料水	7日分	☐
5	☐ 〇	軍手・懐中電灯	1	☐
6		簡易トイレ	7日分	☐
7	☐ 〇	紙おむつ	7日分	☐
8	☐ 〇	家族の写真		☐
9		カセットコンロ・ガスボンベ	1	☐
10		タオル・毛布		☐
11	☐ 〇	室内用厚手のスリッパ		☐
12	☐ 〇	杖		☐
13	☐ 〇	下着		☐
14	☐ 〇	マスク		☐
15	☐ 〇	筆記具（ボールペン・マジックペンとメモ用紙）		☐